

## 趣 味

最近趣味について考えることが増えたなと感じたので趣味について書こうと思います。

私の周りでは王道ではあると思いますが、読書が好きな人、一人でドライブするのが好きな人、ゲームが好きな人、映画を見るのが好きな人がいます。こういう人たちは「趣味は何ですか？」と尋ねられてもパツと答えることができるでしょう。しかし特にこれといった趣味のない私は「特にないですかね～」と返してしまうことが多いです。この質問は、相手が本当に趣味が何なのか知りたい場合とただ会話に困って聞いてきた場合とがありますが、この返答ではどちらにせよ会話が続かず沈黙の時間が流れて気まずくなるだけです。そうと分かっているながらも適当な趣味が思いつかずこれを繰り返してきました。

もちろん好きなことはあります。好きなアーティストの曲を聴いたり買い物したりすることも好きです。しかし音楽は移動中に聞く程度で、買い物も 1 か月に 1 回ぐらい出かけるぐらいです。このように人に趣味といえるほどの熱量はないものばかりで、没頭できることがないのです。この弊害は趣味の会話でなくても起きていて、例えば「いつも家で何しているの？」と聞かれる時も「特に何もしてないですね」と答えてしまいます。何もしてないわけありませんが、ルーティンがないからなのか特に思いつきません。新しい人間関係が構築される場でこのような会話はとても多いので、会話の流れを止めないように何か趣味を作りたいと思って家で映画を見てみたり、家にいるときにずっと音楽を流してみたり、本を買ってみたりしていますがまだどれもピンとこなくて趣味とは言い難い状況です。

多趣味な人は話の引き出しが多くて飽きない上に共通の趣味を持つ多くの人と会話が弾むことで広い人脈をもっている印象があり、うらやましく思うこともあります。最初は欲張りすぎず、アンテナを広く張っていろいろ試してみて胸をはって趣味といえるものを見つけないと思っています。